

平成二十年度学力検査

A 国 語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **5** までで、六ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。

- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1 別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十九点)

(一) 傍線部分①「回数券は一枚ずつ減っていく」とあるが、この部分を文節に分けるとどうなるか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、回数券は一枚ずつ減っていく
イ、回数券は一枚ずつ減っていく
ウ、回数券は一枚ずつ減っていく
エ、回数券は一枚ずつ減っていく

(二) 漢字を行書で書くとき、楷書と異なる筆順で書くことがある。次の漢字は、本文中の波線部分①～④をそれぞれ行書で書いたものである。これらの漢字の中には、楷書と異なる筆順で書いてあるものが一つある。その番号を書きなさい。

① 言 ② 逆 ③ 落 ④ 早

(三) 傍線部分②「回数券を使いたくないんだと伝えた」とあるが、少年が回数券を使いたくなかったのはなぜか、その理由を、母に対する少年の思いにふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(四) 傍線部分③「バス停に立って、河野さんの運転するバスが来るのを待った」とあるが、少年が河野さんの運転するバスに乗ろうと思っただのはなぜか、その理由を、河野さんに対する少年の気持ちが変化したきっかけとなった出来事にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(五) 次の の中の文は、別紙1の文章中の表現について述べたものである。文中の に当てはまる一文として、最も適当なものを別紙1の文章中から抜き出し、最初の五字を書きなさい。(句読点も一字に数える。)

「」
少年の目に映った情景をとおして描いている。
「」という表現は、バスの中で少年の目が涙でいっぱいになってくる様子を、

(六) 二重傍線部分①、②、③の漢字の読みをひらがなで書き、④、⑤、⑥のひらがなを漢字に直しなさい。

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十五点)

(一) 傍線部分①の「と用法・はたらきが同じものはどれか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、弟の描いた絵が掲示されている。 イ、母は玄関に陶器の置物を飾った。

ウ、疲れきった彼は走るのをやめた。 エ、今日は雨なのでジョギングを休もう。

(二) 傍線部分②「詳細」とあるが、この熟語と同じ組み立てのものはどれか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、乗船 イ、美点 ウ、県営 エ、超越

(三) 傍線部分③「このような二極分解」とあるが、これはどのようなことを言っているか、「二極」の具体的な内容を明らかにして、本文中の言葉を使って書きなさい。

(四) 傍線部分④「芸術の才能にめぐまれた、とくべつの人」とあるが、これはどのようなことができる人のことを言っているか、本文中の言葉を使って書きなさい。

(五) 傍線部分⑤「文章を、文学から解放しなければいけない」とあるが、これはどのようなことを言っているか、筆者がどのように考える理由にふれて、本文中の言葉を使って説明しなさい。

(六) 二重傍線部分⑥の漢字の読みをひらがなで書き、⑦のひらがなを漢字に直しなさい。

3

次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(六点)

(注)

出かけていった

留守番をしていたところが

曾参の親しい友人が来た

思うが

曾参、ある時、山中へ薪を取りに行き侍り。母留守にゐたりけるに、親しき友来れり。これをもてなしたく思へども、

家にいないし

もてなすこともできない

帰ってきてほしいと願って

自分でわが指を噛んだ

曾参は内にあらず、もとより家貧しければ、かなはず、曾参が帰れかして、みづから指を噛めり。曾参、山に薪を拾ひ

ありのままを詳しく語り聞かせた

このように

ゐたるが、にはかに胸騒ぎしけるほどに、急ぎ家に帰りたれば、母、ありすがたをつぶさに語り侍り。かくのごとく、指を

遠い所で反応したのは

とりわけ孝行であつて

親子の情の深いしるしである

噛みたるが、遠きにこたへたるは、一段孝行にして、親子の情深きしるしなり。

〔御伽草子集〕より

(注) 曾参——中国の春秋時代の人。孔子の弟子。

(一) 二重傍線部分①④の中には、主語が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分「拾ひゐたる」を現代かなづかいに改め、ひらがなで書きなさい。ただし、漢字の部分はそのまま使用すること。


(三) 本文の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、曾参そうしんの母は、家が貧しくてもてなすことができなかつたことを友人にわびるためにわが指を噛んだ。
- イ、薪たきぎを取りに出かけて行って山中で迷つた曾参を助けてほしいと願つて、母は自分でわが指を噛んだ。
- ウ、とりわけ孝行であつた曾参は、薪を取りに行つてけがをした母のことを聞いて山中から家に帰つた。
- エ、親子の情が深かつたため、曾参は遠くにおいても母が指を噛んだことに反応して急いで家に帰つた。

あゆみさんのクラスでは、第七中学校（七中）に入学する新一年生のために、次の①～③のポスターを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。（四点）

①のポスター

がんばろう！
中学校生活



ようこそ七中へ！

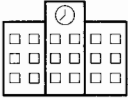
Q：中学校の勉強は難しいですか？
A：授業をよく聞いて、こつこつ予習や復習をしていけば、だいじょうぶです。

Q：部活動をどれにしようか迷っています。
A：4月に3週間ぐらい、見学や体験入部ができますから、じっくり考えて自分にあった部活動を決めましょう。

②のポスター

ようこそ七中へ！

いっしょにやりましょう！



全校で合唱に取り組んでいます。6月に野外コンサート、11月に合唱コンクールがあります。みんなで協力して合唱をつくりあげるのは最高です！

毎朝、全校生徒が10分間の読書をしています。落ち着いて学習を始めることができます。あなたも本が好きになりますよ。


③のポスター

ようこそ七中へ！

共に受けつこう！
七中精神

昭和22年に開校。
昨年、開校60周年をむかえました。

【七中のシンボル「二本桜」】
玄関前に咲く大きな2本の桜。
「やさしさ」と「たくましさ」をもった七中生になってほしいという願いを込めて、開校の時に植えられました。



～あなたも、今日から七中の仲間～

①～③のポスターは、次のa～cの観点ごとにそれぞれ作成されたものである。a～cのどの観点で作成されたものか、最も適当なものを書きなさい。

①～③のポスターには、すべてに共通して読み取れることがあるが、それは何か、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、本年度行事の紹介
ウ、予習・復習の奨励

イ、合唱・読書活動への勧誘
エ、新しい学校生活への応援

5

「未来の日本に残したいもの」について、あなたの学級で意見を発表することになりました。あなたの考える「未来の日本に残したいもの」を具体的に一つ取り上げて、意見を発表するための原稿を、「注意」にしたがって書きなさい。（六点）

〔注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたが取り上げたものを残したいと考える理由がわかるように書きなさい。
- ③ 取り上げたものに対するあなたの考えや意見が、的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の正しい使い方にしたが、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。

— おわり —